地方や小都市における障害者への公共交通機関利用支援

概要報告

既存の公共交通機関の利用促進戦略

交通手段の数が限られていたり資金の制約により十分な支援が提供できない状況において、

既存の公共交通機関の有効利用は障がい者自身とサービス提供者の両方にとって大きな関心ごとである。

公共交通機関は最もコストが低い移動手段であるが、障がい者向けに設計されていないという点をどう改良し

障がい者の移動ニーズに適応するかが焦点となる。